

# 歴史文化遺産の保存と活用のための整備構想

## <概要版>

※この概要版は、「歴史文化遺産の保存と活用のための整備構想」本文のうち、主要なポイントを抜粋しまとめたものです。

### 1. 基本的な考え方

地域らしさは、地域に生きる人びとが、その地域の自然条件の下で歴史的に育んできた文化的・社会的活動の蓄積によって醸成されます。まちの個性、枚方のアイデンティティの創出に、歴史文化遺産は大きな役割を果たしています。

本構想は、古来から受け継いできた歴史文化遺産を保存し後世に継承するだけでなく、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化的観光などへ活用することを目的とするものです。

※本構想における「歴史文化遺産」とは、文化財保護法が規定する「文化財」に加えて、それらに付随する伝統の総和と位置付けます。

### 2. 本市の文化財保護行政の現状

#### (1) 文化財の指定・登録

- ・国指定文化財 8件：特別史跡百済寺跡、交野天神社本殿ほか
- ・府指定文化財 12件：田中家住宅鋳物工場・主屋ほか
- ・市指定文化財 30件：廃渚院観音寺鐘楼、鍵屋主屋ほか
- ・国登録文化財 1件：大阪歯科大学牧野学舎本館
- ・市登録文化財 3件：宗左の辻の道標、明治十八年洪水碑ほか



特別史跡 百済寺跡

#### (2) 歴史文化遺産の保存と活用事業

##### ① 建造物の修復

重要文化財や市指定文化財の保存修理工事

##### ② 歴史資料館の整備

旧田中家鋳物民俗資料館（昭和59年開館）

枚方宿鍵屋資料館（平成13年開館）

##### ③ 史跡整備等

百済寺跡・牧野車塚古墳・禁野車塚古墳・九頭神廃寺を、史跡公園として整備。

現在、百済寺跡は再整備事業に取り組んでいます。また、楠葉台場跡は、楠葉中之芝土地区画整理事業の中で整備工事が進んでいます。



交野天神社本殿・末社八幡神社本殿



渚院跡の鐘楼・梵鐘と歌碑

### (3) 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財包蔵地の周知と発掘調査  
出土遺物の整理と保存・活用

### (4) 啓発普及事業

- ①文化財展示
- ②市民歴史講座・歴史散策
- ③文化財説明板・案内板
- ④ホームページの充実
- ⑤歴史文化遺産関係図書等の刊行
- ⑥防災意識の啓発普及活動



枚方宿鍵屋資料館



旧田中家鋳物民俗資料館

## 3. 本市の文化財保護行政の課題

### (1) 歴史文化遺産のネットワーク化

市域に点在する歴史文化遺産について、より判りやすく保存・活用を図るため、地域性や時代等によるまとまりを踏まえ、テーマ性を持たせた圏域を設定し、ネットワーク化することが必要です。

### (2) 文化財の保存と活用

#### ①歴史文化遺産としての古文書や公文書

一般に古文書と呼ばれる記録資料を、市民共有の歴史文化遺産として保存・公開することが望まれています。また、明治以降の公文書は地域や行政の歩みをたどる資料であり、収集・保存・活用の仕組みが必要です。

#### ②民俗文化財の保存と活用

今なお残る伝統的な文化や生活様式等を次世代に伝えていくため、調査や記録保存が必要です。また、収集している民具について整理やデータベース化を進め、効率的に保管するとともに、資料館や学校教育の場での活用が求められています。

### ③出土遺物の整理と保存・活用

発掘調査の成果を周知し、保存・活用等を図るため、出土遺物の整理と報告書の刊行が必要です。また、将来にわたって出土品等を保存・活用するためには、保管の効率化と集中化の推進が課題です。

### (3) 啓発普及と情報発信の充実

説明板・案内板の整備や歴史マップの作成、ホームページの定期的な見直し等、市民が歴史文化遺産を視覚的にイメージしやすく、身近に感じられるように、情報発信の内容の充実が求められています。

### (4) 歴史・文化的景観の保全

「ひらかた八景」（昭和59年制定）、旧集落や街道沿いに残る伝統的な町並、東部地域の山間部に残る棚田を含む里山など、歴史的・文化的景観の保全を図る仕組みづくりが課題となっています。

## 基本方針

## 歴史文化遺産の保存と活用に向けて

### 1. 歴史文化遺産を巡る歴史回廊

市域に点在する歴史文化遺産について、地域性や時代等のまとまりを踏まえネットワーク化して設定した圏域を「歴史回廊」と名付け、有効に保存・活用していきます。

#### (1) 京街道歴史回廊（近世）

豊臣秀吉が築いた文禄堤を基に整備された京街道は、枚方宿とともに欠かせない歴史文化遺産です。枚方宿には伝統的な外観を持つ町家が点在し、宿の歴史を伝える拠点施設として枚方宿鍵屋資料館があります。また、京街道とその周辺には光善寺・片埜神社・楠葉台場跡ほか数々の歴史文化遺産があり、これらを線をつなぎ、まちづくりに活かしてしていきます。

#### (2) 交野ヶ原歴史回廊（古代）

交野ヶ原は男山丘陵と枚方丘陵に挟まれた交野台地を指し、その中心は楠葉から禁野・中宮あたりです。古墳時代には禁野車塚古墳・牧野車塚古墳といった前方後円墳が築かれ、古代寺院では九頭神麿寺・百済寺跡、『伊勢物語』の舞台となった渚院跡や天野川など、古代の歴史文化遺産が点在しています。百済寺跡を中心にこれらを結び、保存・活用を図ります。

#### (3) 東高野街道歴史回廊（中世）

京都と高野山を結んだ東高野街道は、平安時代末期から高野山参詣が盛んになり、多くの人が行き交いました。沿道周辺には、弘法大師にまつわる伝承が残っています。本市域では道筋の大部分は現在の幹線道路と重なっていますが、出屋敷地区と茄子作の本尊掛松付近には旧道の面影が残っており、この2地区の街道部分を歴史の道として周知していきます。

### 2. 歴史の薫りを豊かに伝えるまちを目指して

(1) 指定文化財・登録文化財制度の更なる推進

(2) 文化財の整理と保存・活用

歴史文化遺産としての記録資料の保存・利用

民俗文化財の整理と保存・活用

出土遺物の整理と保存・活用

(3) 啓発普及と情報発信の充実

(4) 歴史的・文化的景観の保全とまちづくり



明治十八年洪水碑  
(市登録文化財)



ひらかた歴史探検隊の様子

## 点から線へ、面としての広がりへ

本市域に残る多くの歴史文化遺産を後世に伝えていくには、「遺す」だけでなく「まちづくりに活かす」という視点が大切です。点から線へ、さらに面としての広がりへ、そして枚方市全域を歴史の薫りを豊かに伝えるまちとするように取り組んでいきます。

### 歴史文化遺産を巡る 歴史回廊



平成 27 年 3 月

発行 枚方市

編集 枚方市教育委員会 文化財課